



環境レポート2004

あなたといっしょに、笑顔でチャレンジ。



ユニー株式会社 環境部
愛知県稲沢市天池五反田町1番地
TEL.0587-24-8093 FAX.0587-24-8034
<http://www.uny.co.jp>

応援します



自然との調和を大切に
「未来の子供達に美しい自然を残したい」
ユニーは環境に優しい生活をお客様と一緒
に進めていきます。



古紙配合率100%再生紙を使用



このレポートは、古紙配合率100%の再生
紙と環境に配慮した植物性大豆油インキを
使用し、水なし印刷方式で印刷しています。

2004年8月発行

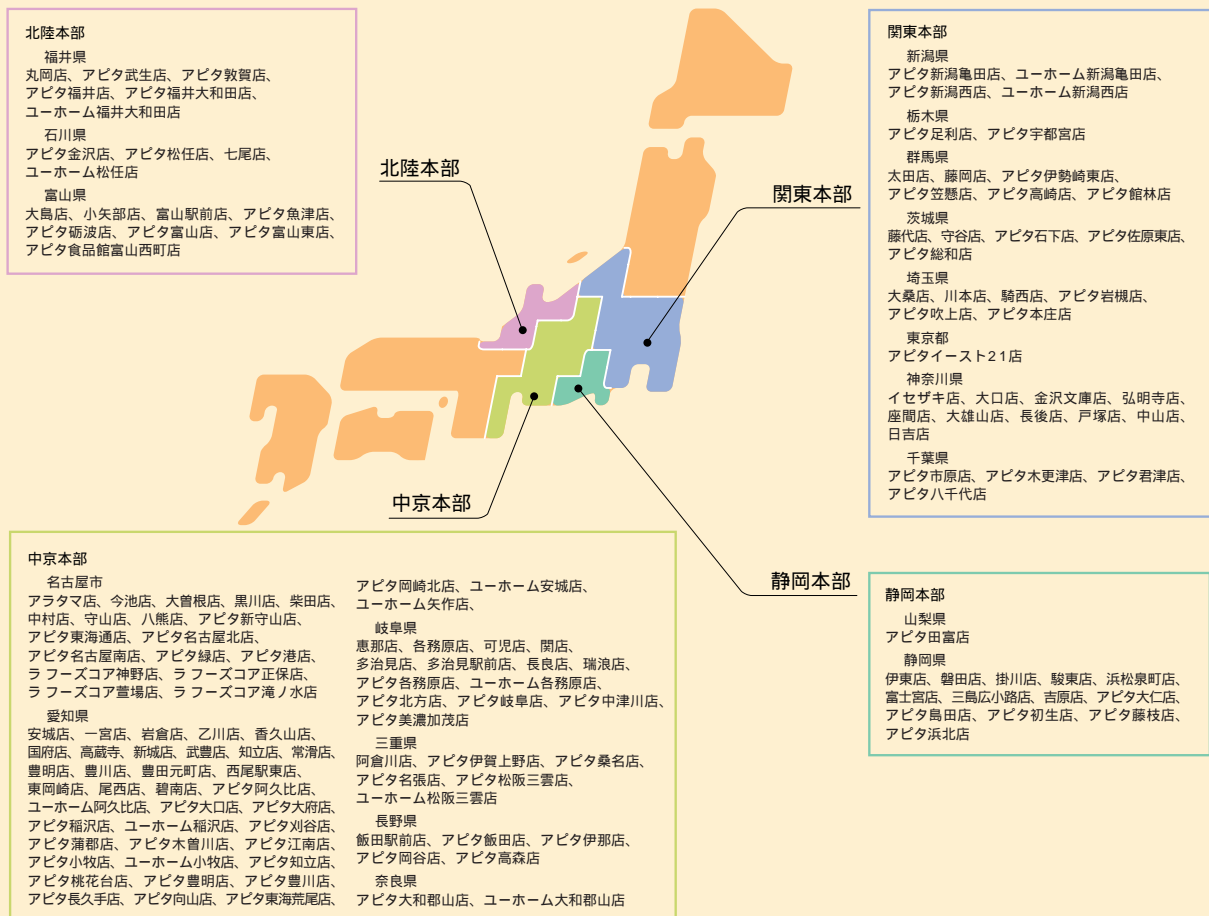
ユニー株式会社

会社概要

本 社	〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地
設 立	1950年3月13日
資 本 金	101億2,925万円(2004年2月現在)
代 表 者	佐々木孝治
事業内容	衣・食・住・余暇にわたる総合小売業のチェーンストア
売上構成	衣料品21%・食料品57%・住居関連品20%・その他2% (2004年2月実績)
決 算 期	2月20日(年1回)/東京・名古屋(各1部)の各市場に上場
店 舗 数	1都17県下に155店(2004年6月現在)
従業員数	25,657名(2004年2月現在)
売 上 高	7,202億円(2004年2月実績)
主要取引銀行	UFJ銀行、農林中央金庫、東京三菱銀行、みずほコーポレート銀行
HPアドレス	http://www.uny.co.jp
グループ連結売上高	1兆1,675億円(2004年2月現在)
主なグループ企業	

(株)シーアンドエス、サークルケイ・ジャパン(株)、(株)サンクスアンドアソシエイツ、
 (株)ユースタ、(株)さが美、(株)パレモ、(株)モリエ、(株)ラフォックス、(株)鈴丹、
 (株)東京インセンス、UNY(HK)CO.,LTD、(株)ユーライフ、(株)ユニカードサービス、
 (株)サン総合メンテナンス、(株)サンリフォーム、(株)ユニコム、(株)マイサポート、
 (株)ユニフード、(株)ユニサービス、青木ヶ原高原開発(株)、東名クラウン開発(株)

事業所





あなたといっしょに、
笑顔でチャレンジ。

会社概要	1
環境理念・環境方針	3
2003年環境活動ハイライト	4
社長インタビュー	5

環境活動

お店での取り組み

環境に配慮した設備や工夫	7
環境配慮商品	9
お買物袋持参運動	11
包装資材削減	14

環境負荷軽減への取り組み

事業活動における環境負荷	15
省エネ・省資源活動	16
廃棄物削減	17
容器包装リサイクル	19

ユニーのリサイクルシステム

食品廃棄物リサイクル	21
------------	----

環境コミュニケーション

環境学習	23
------	----

お店づくり

人にやさしいお店づくりのために

店舗の工夫	25
お客様の声のポスト	27
ピック・アップ・ストア アビタ東海荒尾店	28

社会貢献活動

地域への貢献

地域で行うリサイクル・支援活動	29
-----------------	----

環境レポート2004

対象範囲

ユニー株式会社
155店舗及び本社事務所(各本部含む)

対象読者

ユニーをご利用いただくお客様のほか、店舗の近隣住民の方々・お取引先・従業員など、ユニーに関わる全ての皆様を対象とします。

対象期間

2003年度(2003年2月21日～2004年2月20日)
一部2002年度以前の実績や、2003年度以降の活動・目標を記載しています。





環境理念

地球規模での環境破壊が深刻化している今日、
環境に優しい循環型社会実現のために、
ユニーは企業活動を通じて貢献します。



環境方針

ユニー株式会社は

- 1 環境負荷の少ない、安心安全な商品を提供します。
- 2 限りある資源を大切に、省資源・省エネルギーに取り組み、廃棄物の減量・リサイクルを推進し、環境の汚染予防に努めます。
- 3 全社・全従業員が環境問題に関心を持ち、「環境活動」「環境教育」を通じて、継続的な改善に努めます。
- 4 環境保全に関する法律、ユニーの同意したその他の要求事項を遵守し、お客様ならびに一般市民・行政機関ともパートナーシップをとり、「人と環境に優しい社会」実現のために努力します。
- 5 この環境方針は、広く一般に開示します。

2003年7月5日

代表取締役社長 **佐々木孝治**



自然との調和を大切に

「未来の子供達に美しい自然を残したい」
ユニーは環境に優しい生活をお客様と一緒に進めていきます。

H I G H L I G H T

2003年環境活動ハイライト



Topics

1 ISO14001 認証取得

「環境負荷の軽減・予防と継続的改善」を方針に掲げ、環境マネジメントシステムの構築に取り組んだ結果、2004年1月14日、ISO審査登録機関オリオン・レジストラ社より、環境マネジメントシステムの国際規格である「ISO14001 認証」を本社事務所が取得しました。



取得までの流れ

2001年2月21日
本社業務本部に環境部を設置

2001年6月20日
「環境レポート2001」を発行

2003年3月17日
社内環境会議でISO14001の勉強会を開始

2003年6月7日
ISO推進委員会発足

2003年7月5日
社長が環境管理責任者を任命、
「環境方針」を承認

2003年9月1日
キックオフ宣言

2003年12月8・9日
登録審査

2004年1月14日
ISO14001 認証取得

今後の取り組み

2004年度中に静岡本部認証取得予定、北陸本部はキックオフ宣言します。各店舗で環境マネジメントシステムの構築を図っていきます。



内部監査員養成研修

Topics

2 新環境配慮商品導入

詳細は P.10

衣料品部門に、環境にやさしい商品を取り入れました。環境負荷の少ないトウモロコシのデンプンから得られる繊維「ラクトロン」を使用した肌着です。



自然との調和を大切に
とうもろこしから生まれた新しい洗濯繊維
(軽量化・保湿性・吸水性・耐縮性に優れています)

Topics

3 リサイクルセンター稼働

詳細は P.19

牛乳パック・アルミ缶などの容器類をリサイクルするリサイクルセンターが稼働を始めました。店舗からセンターへの運搬には、商品配送から戻るトラックを使用します。



Topics

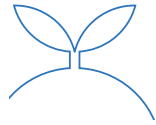
4 循環型リサイクルの実現

詳細は P.21

店舗で発生する食品廃棄物を堆肥にし、その堆肥を利用した土で農作物を生産。さらに生産されたものをユニーの店舗で販売する、循環型のリサイクルを実現しました。



社長インタビュー



地に足のついた 環境活動・社会貢献活動を展開します

世界共通の課題である環境問題に対して、ユニーはどのような対策を実践しているのでしょうか。佐々木孝治代表取締役社長に、ユニーならではの環境保全への取り組みについて、最近の動きを中心に伺いました。



代表取締役社長 佐々木孝治

身近なところから始める環境保全

ユニーが特に力を入れている環境保全活動について教えてください。

佐々木 最近の異常気候をはじめ、私たちの生きている自然環境がどこかおかしくなっているのを肌で感じますが、地球環境をこれ以上悪化させないために、身近なところから取り組んでいます。

ユニーの店舗では、常に照明や空調などにエネルギーを使いますし、水などの天然資源を使って営業をしています。また、営業をしていく上で、包装資材や生鮮食品の調理くずなど廃棄物も排出されます。

こうした日常の中で環境負荷をいかに少なくしていくかが、自然を守っていくことにつながると考えています。

ユニー本社のある愛知県では、2005年春に「愛知万博」が開幕し、環境問題に対して積極的な取り組みがなされています。ユニーでも、愛知県下の店舗や本社事務所をメインに、「クリーンアップキャンペーン」を展開し、店舗やその周辺の道路や公園などの清掃活動を実施しています。

ゴミの排出抑制にはどう対応されていますか。

佐々木 廃棄物の削減やリサイクルに対しての意識を高めています。リサイクルでは分別

を徹底し、できるだけ完全な再生資源として使えるように取り組んでいます。

お客様にご利用いただいているリサイクルボックスの運用については、2003年8月に愛知県弥富町に物流センターを新設した際に「リサイクルセンター」を併設したことで、自社内でのリサイクル品運搬のルートを確立できました。

愛知・三重・岐阜・長野の中京本部の78店舗のリサイクルボックスにお客様が持参されたアルミ缶・牛乳パック・トレイをはじめとするリサイクル品は、自社物流トラック便で「リサイクルセンター」に集められます。圧縮してコンパクトに処理してから各リサイクル工場に運ばれ、100%再生資源として使われます。

また、食品リサイクル法の対策としては、「地域循環システムの構築」を目標に取り組んできました。愛知経済連との連携で3年前から研究をすすめており、生ゴミを堆肥の原料とした有機栽培作物を店舗で販売するというところまでこぎつけました。

2004年秋からは、地元愛知県下の店舗で、実験販売を開始する予定です。

ISO14001取得の波を本社から各本部・各店舗へ

店舗が周囲の環境に及ぼす影響についてどのようにお考えですか。

佐々木 大きな問題ですね。出店や時間延長はその地域のお客様の利便性を高めますが、一方で環境負荷も大きくなるからです。当社は食品の鮮度維持のためにも、周囲への環境負荷抑制のためにも、従業員の厚生面からも、午後10時を営業時間の原則的なリミットとすると同時に、さまざまな対策を講じて環境負荷の低減に努めてまいります。

環境問題に取り組むための組織やシステムはありますか。

佐々木 2001年に環境部を設置し、社内の環境活動を推進しています。また同年、各種環境問題への対応や地域での環境活動などを検討する環境会議を立ち上げました。各本部の担当部署から代表者が集まって検討し、環境負荷をできるだけ少なく省エネ・省資源で運営できる店づくり、および環境に配慮した商品の販売、サービスの提供に取り組んでいます。

2004年1月14日には環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を本社で取得し、継続的な環境活動をユニーのマネジメントシステムに採り入れました。これを皮切りに2004年度には静岡本部、北陸本部で認証取得を実現し、その後関東本部、そして各店舗へと順次拡大していく予定です(詳細は4ページ)。

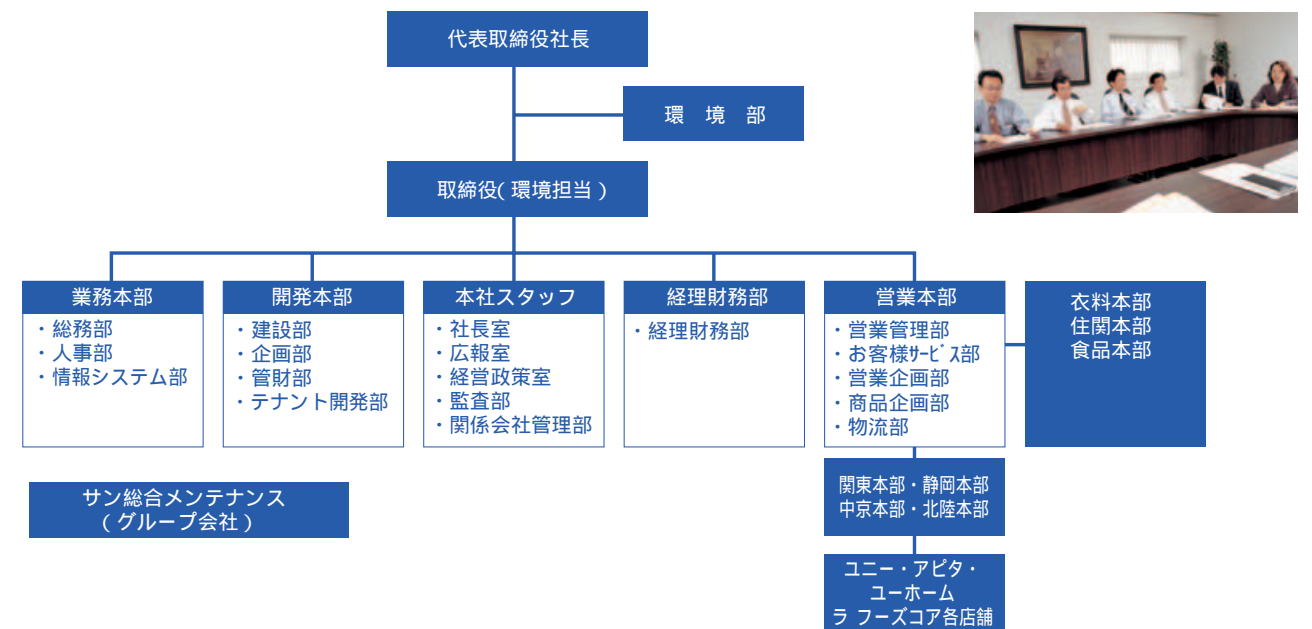
より大きな課題である「企業の社会的責任」についてお考えをお聞かせください。

佐々木 小売業の第一の使命は、お客様に必要とされる商品を確実に提供することだ、と私たちは考えています。

リージョナルカンパニーであるユニーは、地域のお客様に支えられていることを忘れることなく、足元からの環境活動に取り組みながら、人と環境にやさしい店舗・商品・サービスの提供、そして地に足のついた社会貢献活動を、グループ企業とともに展開していきます。



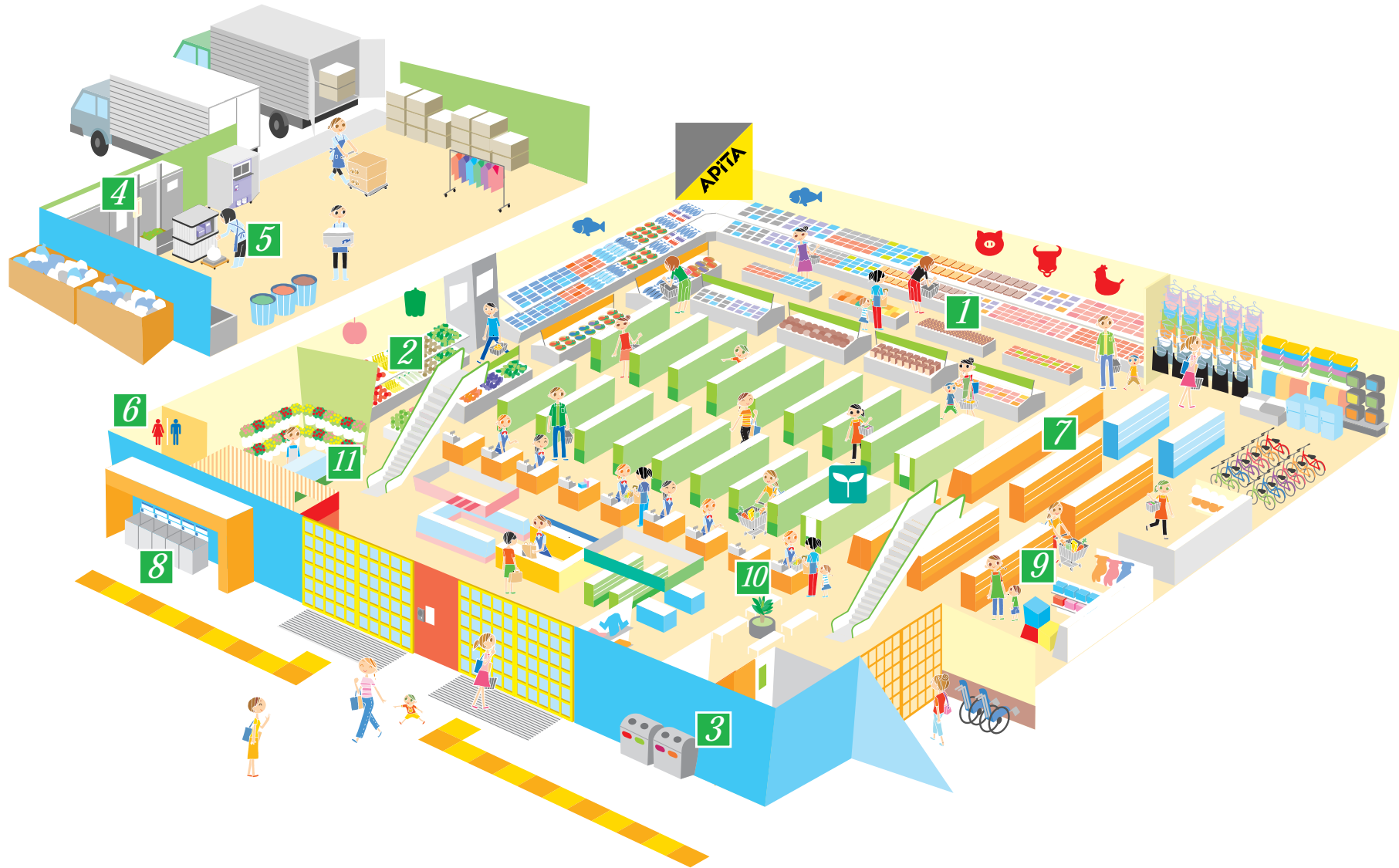
環境会議組織図



お店での取り組み

環境に配慮した設備や工夫

“環境に配慮した店づくり”を目指しているユニーの店内では、ゴミ減量、リサイクルや省エネを推進するため、さまざまな設備を用意するとともに、販売方法にも工夫をしています。特にお客様とともに進めるゴミ減量に関しては、お客様が利用しやすいようにリサイクルステーションや、各所に分別ゴミ箱を設置しています。



1 包装削減商品

P.14

ハンバーグなどの加工品の個包装を簡易化して提供することで、包装類のムダを減らし、環境負荷軽減につなげています。



2 野菜・果物バラ売り

お客様に包装資材を用いず、適正な数量を購入していただくために商品によってバラ売りでご提供しています。



3 分別ゴミ箱

店内各所に「燃やせるゴミ」や「燃やせないゴミ」など分別したゴミ箱を置き、リサイクル用にゴミを回収しています。



4 リサイクル処理機

P.17

生ゴミは肥料、発泡スチロールはプラスチックチップなど、再生資源としてリサイクルを行っています。



8 リサイクルステーション

P.14

牛乳パックをはじめ、アルミ缶、トレイ等お客様が買い上げ後にゴミになるものを回収し、リサイクルしています。



5 廃棄物計量システム

P.18

各売場やテナントから排出される廃棄物を分別し、計量することにより、減量やリサイクルの促進を図ります。



9 環境配慮商品

P.9

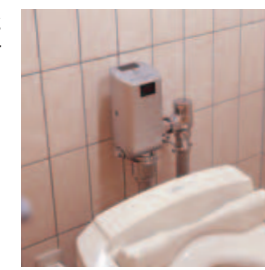
資源リサイクル、環境を汚さない商品、省エネ・省資源商品など環境保全を考えた商品を揃えています。



6 トイレ(節水)

P.16

流量を調整することにより、節水に努めています。



10 レジ (マイバッグキャンペーン、スタンプカード)

P.11

お買物袋を持参して、レジ袋を辞退していただくと、1精算に1個スタンプを押しています。20個でお買物割引券と交換しています。



7 ナイトカバー(節電)

P.16

省エネのため、閉店後には冷凍冷蔵コーナーにナイトカバーをつけ、消費電力の削減に努めています。



11 情報の開示

P.23

ユニーの取り組みをポスターなどで紹介・報告しています。



お店での取り組み

環境配慮商品

普段使っているものを「環境にやさしい」という視点でお客様にご購入いただくことが、自然を守ることに繋がります。
ユニーではムダを省いたものや環境汚染防止になるものなど、環境に配慮した商品を多く販売しています。

1 環境を汚さない商品

汚染防止に役立つ商品には大気・水・土壌を汚さない原料でできている商品や、汚水や排気を出さないための商品があります。



環境を汚さない商品

非塩ビラップは燃やしても有害物質を出しません。



河川や土壌の汚染を防止する商品



天然素材せっけんは、合成洗剤を使わないので環境を汚しません。また水切りネットなどは河川の汚染を防止します。

フロンを使用しない商品



ノンフロン冷蔵庫

排気を出さない商品



排気循環掃除機

2 資源リサイクル商品

使用後にリサイクルできる商品や、再生資源からできた商品は石油や森林資源など貴重な資源の節約につながります。



古紙リサイクル商品



牛乳パックや使用済みのOA用紙を使用しています。

資源再利用商品



アルミ缶や使用済みプラスチックを使ってます。

資源再利用商品



インクカートリッジなどの本体を回収して再利用しています。

3 省エネ・省資源商品

使用するエネルギーを抑えた商品、容器包装などのムダを省いた商品、長期間使用できる商品は、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減に貢献します。



省エネ型冷蔵庫

容器詰め替え商品



包装資材のムダを省きます。



消費エネルギーを抑える工夫をした商品です。

省エネ型電球



長時間使用でき、廃棄物の削減になります。

4 環境負荷軽減商品

トモロコシのデンプンから得られる乳酸を原料とした繊維「ラクトロン」を使用した、環境にやさしい衣料品です。



自然との調和を大切に
ともろこしから生まれた高い・快適繊維
(軽量性・保湿性・吸水性・吸熱性に優れています)



グリーン購入キャンペーン

環境負荷の小さい製品やサービスを選ぶグリーン購入の一環として、「東海三県一市グリーン購入キャンペーン」へ賛同し、環境配慮商品を販売するコーナーを設けました。詰め替え製品などを販売促進することで「地球温暖化防止」や「ごみ減量」をお客様に呼びかけました。

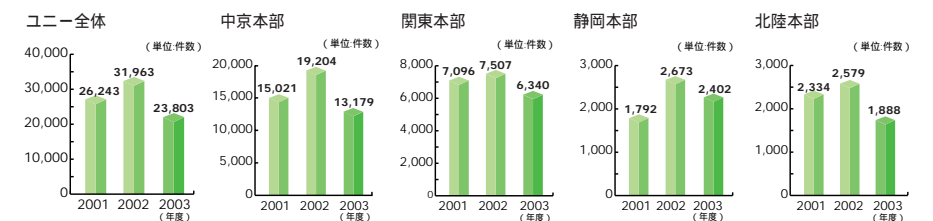


家電リサイクル

家電リサイクル法が2001年に施行されました。ユニーでも各店に収集庫を設置し、お客様からリサイクル家電品をお預かりして、リサイクル指定工場に運んでいます。



家電リサイクル状況



データは、各年度ともユニー(株)当年2.21 - 翌年2.20までのものです。

TOPICS

表示カード

ユニーでは取り扱い商品の中で、より環境にやさしい商品をお客様に紹介しています。それぞれの商品がどのように環境にやさしいかを、表示カードでわかりやすく説明しています。エコの仕組みを説明した表示カードは見やすく、読みやすい表示にしています。お客様が商品の特性を理解された上で、環境にやさしい商品を選びやすいよう配慮しています。



省エネ・省資源商品

お店での取り組み

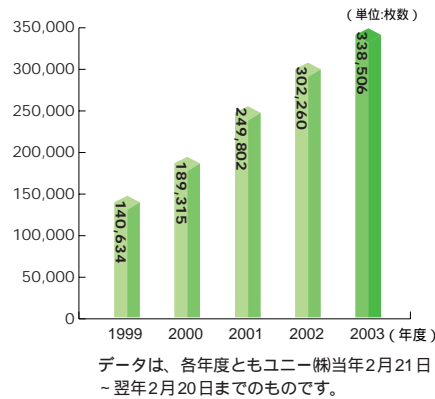
お買物袋持参運動

レジ袋の減量のため、ユニーではさまざまな工夫をしています。お買物袋持参運動では、レジ袋を辞退された際のポイントサービスに加え、オリジナルのマイバッグと交換できるキャンペーンを展開することにより、お客様に積極的にレジ袋削減運動にご参加いただいています。

お買物袋持参運動

ユニーでは「地球環境の保全」「ゴミ減量」のために、食品取り扱い店舗全店で買物袋持参運動を実施しています。お客様と一緒に環境について考え、「環境にやさしいお買い物」をしていただく運動として、1989年から始めました。食品関連レジでお買物袋持参のお客様がレジ袋を辞退されたときに、1回の精算につき1個のスタンプを「お買物袋スタンプカード」に押します。スタンプが20個たまったら、お店のサービスカウンターで100円分の「お買物割引券」と交換しています。リサイクル月間には、ユニーオリジナルのマイバッグと交換できます。

スタンプカード発行枚数



「エコクーびょん」の実施

2003年10月から名古屋市内のユニー・アピタ14店舗で、名古屋市の「脱レジ袋宣言」に賛同し、市内共通還元制度「エコクーびょん」に参加しています。お買物袋持参に対する還元シールで、レジ袋1枚あたり2.5円で換算されます。名古屋市の小売店約560店舗が参加しています。



お買物袋持参運動のはじまり

ユニーのお買物袋持参運動は、1989年に愛知県のサンテラス一宮店からスタートしました。この時点では、一度使ったレジ袋を再び使っていただく運動でした。現在も使用している「お買物袋スタンプカード」は1991年に中京エリアの店舗で発行を始めました。



装い新たにマイバッグキャンペーン

2001年10月のリサイクル月間から、ユニーではオリジナルショッピングバッグを差し上げるマイバッグキャンペーンをスタートしました。これはお客様に「どうしてお買物袋持参運動に参加しないのですか」とお聞きしたところ「レジ袋のかわりになるショッピングバッグをもってないから」という答えが多かったので、「ではレジ袋のかわりに使えるお買物袋をお渡しして、使っていただこう」と考えたからです。そこでお買物割引券のかわりにショッピングバッグと交換するキャンペーンを年2回(6月の環境月間と10月のリサイクル月間)実施することにしました。



レジ袋削減のために

レジ袋いりませんカードはレジ付近に設置し、自由に取っていただけるようにしています。多くのお客様のご協力によってレジ袋を削減しています。



名古屋市



三重県



日本チェーンストア協会



ユニー・アピタ

ノー・レジ袋の日

ユニーでは毎月5日を「ノー・レジ袋の日」としています。レジ担当者が毎月1日～5日胸にバッジを付け、環境への配慮をアピールしています。



レジ精算時のお客様への対応



カゴに「レジ袋いりませんカード」を入れてください。



精算時にレジ担当者にスタンプカードをお渡ください。

スタンプカード



カードにスタンプを押してお返しします。



精算終了後、ご持参のマイバッグに購入商品を入れてください。外側の透明ポケットにはレシートを入れていただけます。



お店での取り組み



お買物袋持参運動

オリジナルショッピングバッグを使っていたお客様には、アンケートでご意見やご要望をいただきました。より多くのお客様に使っていただけるように、工夫を重ねています。

2003年・春



先回のお客様からのアンケートで要望のあった、明るい色調のマイバッグを作りました。また、「精肉や生鮮・冷凍食品などを買う時に、氷やドライアイスと一緒に入れて保冷できる袋が欲しい」という声にお応えして、保冷ポーチを加えました。



2003年春のご意見

- 良かった点は・・・**
- ・クーラーポーチは保冷ができるので役立ちました。
 - ・折りたたんでコンパクトにできるのですごく重宝しています。
 - ・毎回いろんなタイプや違った色が出るので、いくつもらってもうれしい。
 - ・前回のものよりしっかりしたタイプで使いやすい。
 - ・防水になっているので、ぬれやすいものを入れても安心。
- 工夫してほしい点は・・・**
- ・モダンで合わせやすい黒系のバッグがあるといい。
 - ・クーラーポーチは、もう少し大きな精肉トレーが入るといい。
 - ・マチが大きくて使いやすいが、ヨコ型タイプも欲しい。
 - ・サイズ展開がたくさんあるといいと思います。
 - ・ひもが長いので肩にかけやすいが、重いものを入れる時は少し不便。
 - ・ポケットがついているのがいい。内ポケットもあるといいのに。

2003年・秋



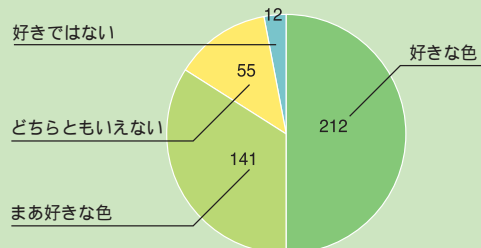
秋のイメージのマイバッグは、要望に合わせて3種類作りしました。「ちょっとした買い物の時に使いたい」という大きさのワインレッド、「小さく折りたたんで外出時に持っていきける」コンパクトなブラック、「重いものを入れても持ちやすい」形のブラウンを、用途に合わせて選んでいただきました。



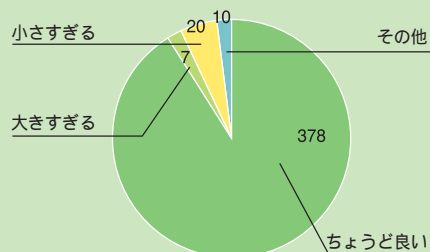
2003年秋のご意見

- 良かった点は・・・**
- ・長いものが入るのでタテ型がうれしかった。
 - ・色がシックで使いやすい。
 - ・丈夫な素材なのに折りたためるからうれしい。
 - ・バケツ型は安定が良く、車にのせても安心。
 - ・形の違うものをたくさん入れてもスッキリ見えるから好き。
- 工夫してほしい点は・・・**
- ・自転車のカゴにぴったり入る大きさが欲しい。
 - ・牛乳パックが2つ入る大きさのマチのバッグがあるとうれしい。
 - ・今度は明るい色のバッグが欲しい。
 - ・去年の保冷タイプのバッグをまた出してほしい。
 - ・衣料の買い物などに使える軽くてかさばらないタイプがあるといいと思う。

Q. 色はいかがでしたか？ (単位：人)



Q. 大きさはいかがでしたか？ (単位：人)



グラフは2003年秋に実施したアンケート結果の一部です。



包装資材削減

お客様に購入していただいた商品の包装の仕方やレジ袋にも工夫をし、できるだけゴミが出ないように努めています。



包装削減の工夫

トイレットペーパーなどの大きな商品や、1個単位でお買い求めの商品には、「名入りクラフトテープ」をお印として使用することで、包装紙の削減をしています。クラフトテープの特長

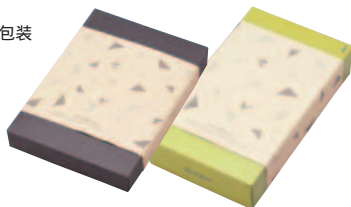
1. 主原料に、焼却時に有毒ガスを発生しないポリエチレン・クラフト紙を使用
2. 表面に人体に無害なシリコン系の処理材を使用



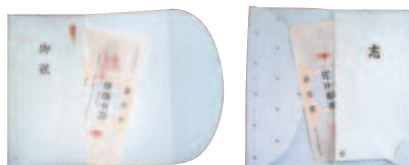
簡易包装

環境保全を目的とした「ゴミ削減」のため、お中元・お歳暮をはじめとする贈答品、商品券などの包装を簡易化しています。

贈答用包装



商品券包装



慶事用

弔事用

包装削減商品

ハンバーグなどの加工品の個包装を簡易化して提供しています。また惣菜コーナーでは、必要な分をひとつの袋にまとめてお買い求めいただくことで包装類のムダを減らし、環境負荷軽減につなげています。



容器包装リサイクル

店内に専用のリサイクルボックスを設け、牛乳パックやトレイ、ビン・アルミ缶・ペットボトルなどを回収しています。また、毎月のリサイクル実施状況をポスターにまとめて掲示しています。



TOPICS

レジ袋削減の取り組み

2001年

レジ袋各サイズの容量の再設計を行い、レジでの複数使用を減らし、削減に取り組みました。



2002年

レジ袋の再設計を全店で行いました。Lサイズの袋が使われたため、レジ袋の使用数量は横這いでしたが、1枚当たりの重量が増加する結果になりました。

2003年

お買い上げ商品の量に対して適切な数のレジ袋をお渡しするように、レジ担当者への環境教育とレジ袋の運用マニュアルの再徹底を図り、レジ袋使用量の削減に努めました。

2004年

毎月1日から5日までの期間「ノーレジ袋の日」のネームをレジ担当者が胸に付け、「ご協力ありがとうございました」のお礼の言葉を徹底しました。

レジ袋使用量・重量推移

(単位：t)

年度	1999	2000	2001	2002	2003
実績	2,278	2,507	2,265	2,403	2,329

データは、各年度ともユニー聯当年2月21日～翌年2月20日までのものです。

TOPICS

容器包装リサイクル法への対応

2000年度より、容器包装リサイクル法に基づき、財団法人容器包装リサイクル協会への委託料金を下表の通り支払いました。

容器包装リサイクル法に基づく委託金

2000年度	7,100万円
2001年度	1億2,100万円
2002年度	1億1,800万円
2003年度	1億4,900万円
2004年度	2億1,350万円

環境負荷軽減への取り組み



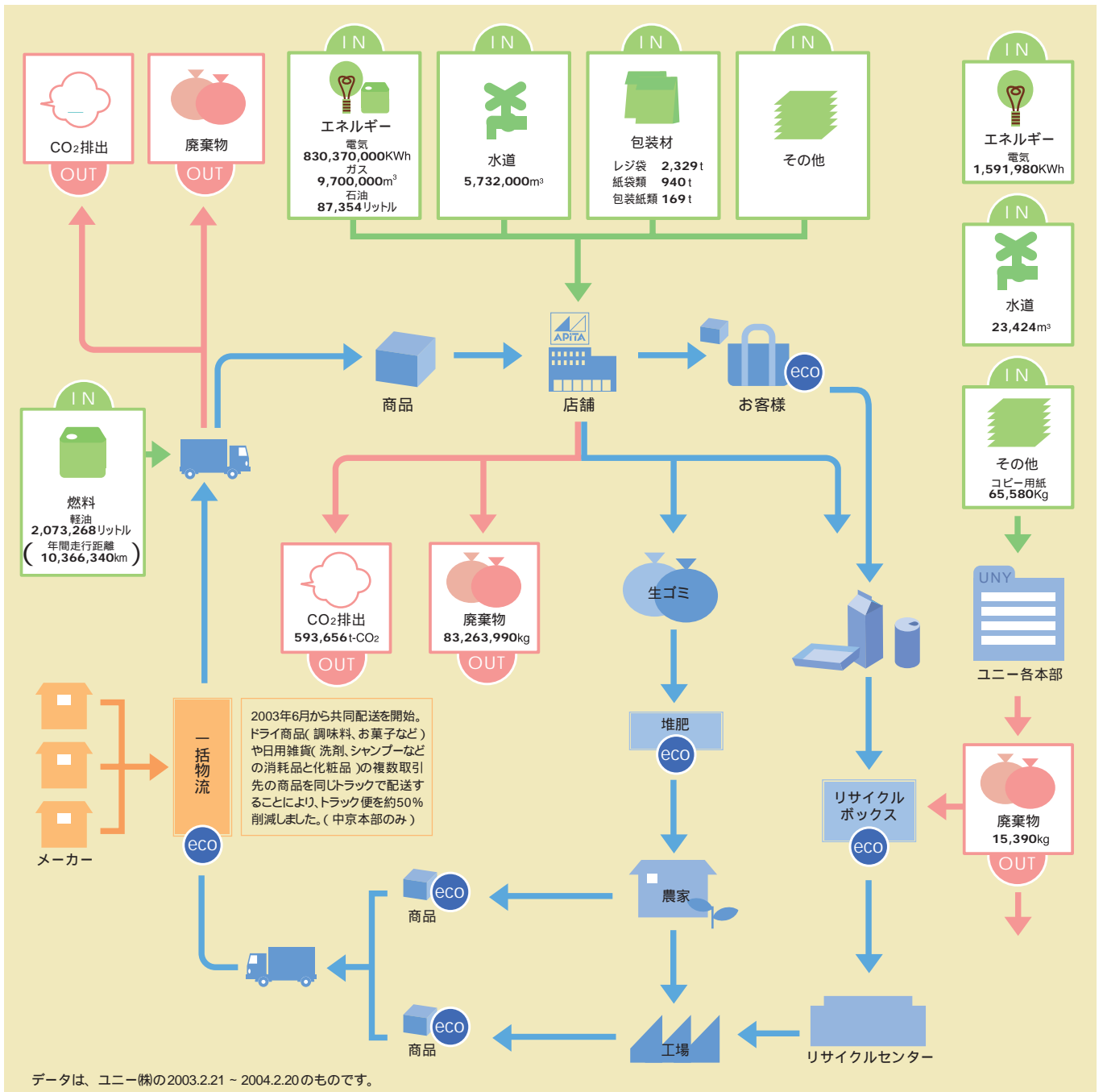
事業活動における環境負荷

店舗や社内の事業活動により、環境にはさまざまな負荷がかかります。
ユニーでは、活動全体の環境負荷を把握し、負荷を軽減するよう活動しています。

事業活動の環境に対する影響

店舗や社内ではエネルギーの使用による排気やゴミを多く排出します。
そのほか商品を配送する際の負荷や、お客様が商品を購入された後ご家庭で発生する廃棄物など間接的な負荷があります。
ユニーでは、リサイクルや省エネ・省資源活動をはじめ、商品の一括物流を行うなど、環境負荷を軽減するよう努めています。

IN インプット OUT アウトプット eco 環境負荷軽減





省エネ・省資源活動

リサイクルボックスで回収した再生紙などで作った省資源製品を、店内で使用しています。
また、使用していない場所の電気を消灯したり、冷凍冷蔵コーナーに節電用のナイトカバーを付けるなど、日頃の活動の中で省エネに努めています。

事務用品の再生製品利用

文房具・名刺・トイレットペーパー・チラシなどには再生製品を使用しています。特にトイレットペーパーには、お客様がリサイクルボックスにお持ちいただいた、牛乳パックを含んだ再生紙が使用されています。

消灯の義務づけ

事務所、社内では使用していない場所での消灯を義務づけています。

ナイトカバーの導入

閉店後、省エネルギーのため、冷凍冷蔵コーナーにはナイトカバーをつけ消費電力の削減に努めています。

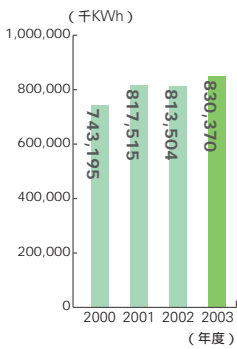


トイレの節水

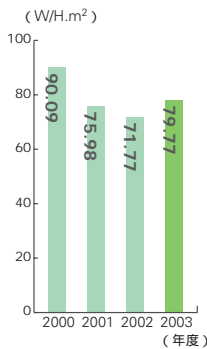
流量を調整することにより、節水に努めています。



電気使用量

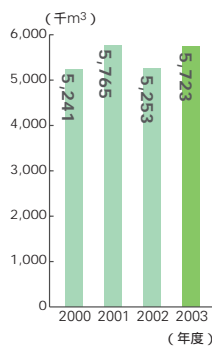


単位面積時間当たり電気使用量

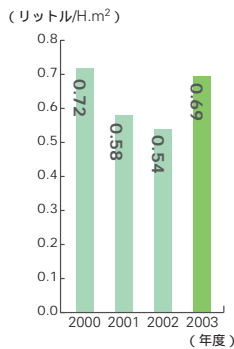


照明器具に省エネシステムを導入することで、省エネを図りましたが、営業時間延長などの影響で増加しました。

水道使用量

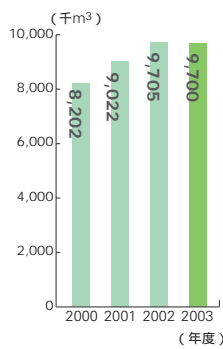


単位面積時間当たり水道使用量

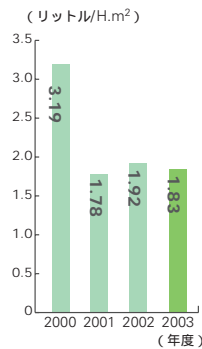


節水システムを導入することで水道の使用量を節約しましたが、営業時間延長などの影響で増加しました。

ガス使用量

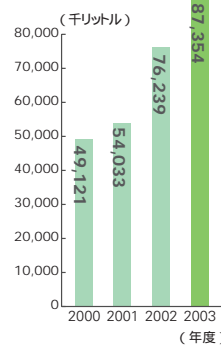


単位面積時間当たりガス使用量

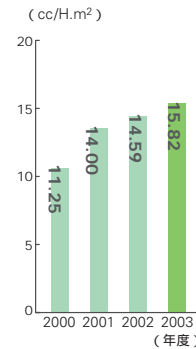


新店舗から自家発電に切り替えたことにより、石油の使用量は増加しました。

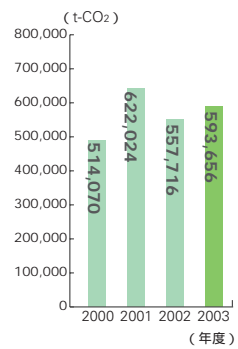
石油使用量



単位面積時間当たり石油使用量



二酸化炭素排出量



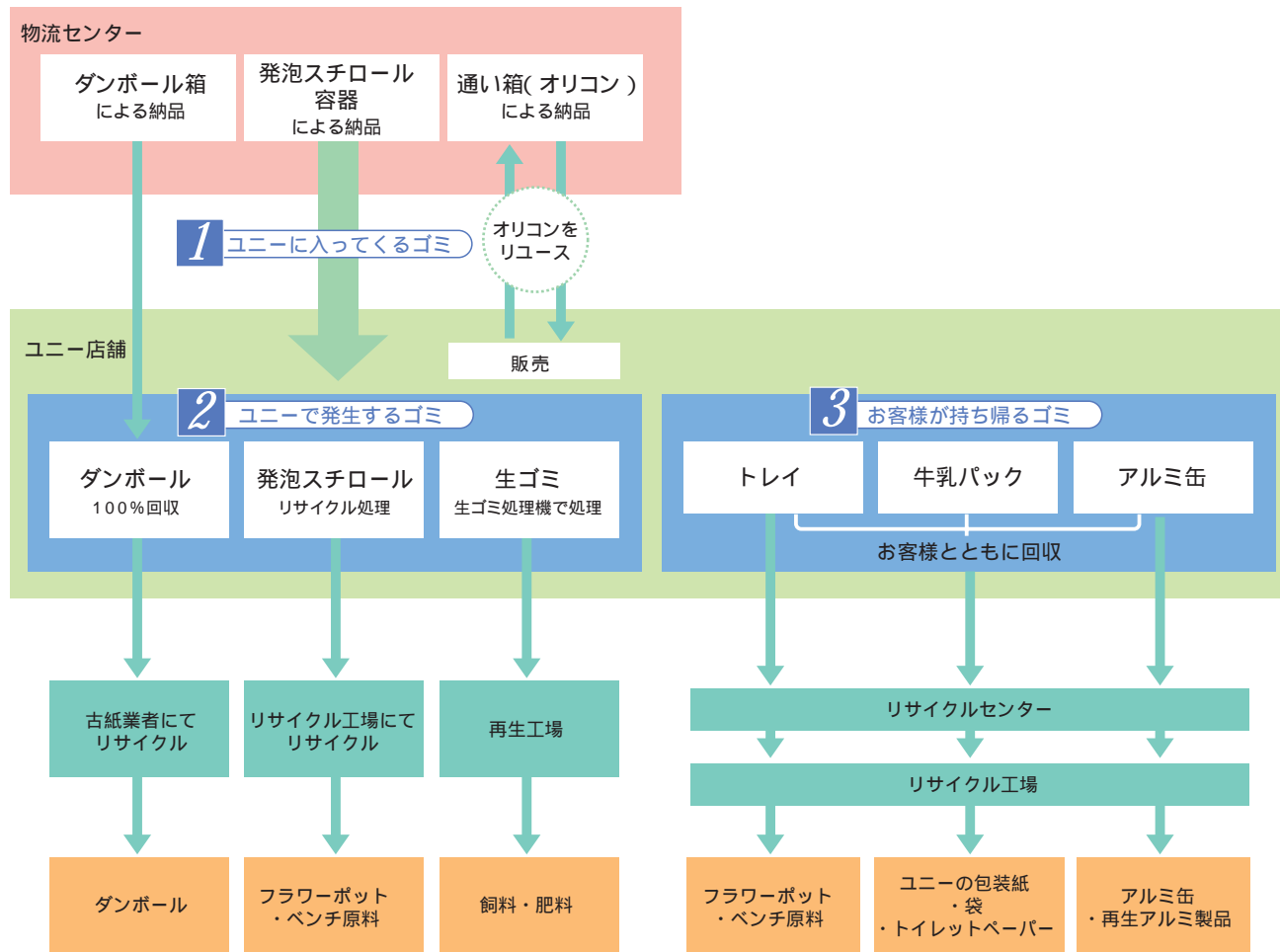
「環境レポート2002」までは炭素換算値で示しておりましたが、「環境レポート2003」より二酸化炭素換算値で示しております。

2002年からほとんどの店舗で営業日を増やし営業時間を延長しているため、使用量が増加したと考えられます。

データは、各年度ともユニー(株)当年2月21日～翌年2月20日までのものです。

廃棄物をできる限り削減するために、商品搬入時の廃棄物を減らすと同時に、店舗で発生する廃棄物をリサイクルすることに取り組んでいます。お客様が商品として持ち帰った後で発生する空容器は店舗で回収、リサイクルセンターを介して再資源化しています。

廃棄物削減のための取り組み



1 ユニーに入ってくるゴミ

商品搬入時に商品を入れてきたダンボール箱や発泡スチロールの容器を使い捨てから通い箱(オリコン)にすることによって、廃棄物の発生を抑制しています。

2 ユニーで発生するゴミ

店の中での販売活動や商品加工・サービスから発生する廃棄物をリサイクル資源にする取り組みをしています。

1. 発泡スチロールの再資源化 (詳細はP19, 20)
2. 食品廃棄物の再資源化 (詳細はP21, 22)
3. ダンボールは100%リサイクル

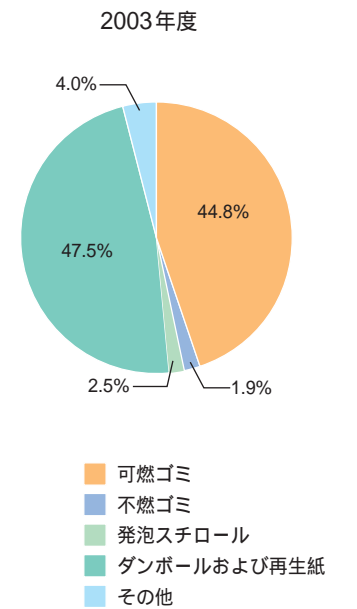
3 お客様が持ち帰るゴミ

牛乳パック(再生紙の原料)やアルミ缶(再生アルミの原料)、食品トレイ(再生プラスチックの原料)は、各店舗にリサイクルボックスを設置し、ゴミの再生利用をお客様と一緒に取り組んでいます。(詳細はP19, 20)

年間廃棄物排出量とリサイクルの流れ

2003年度 店舗における廃棄物排出量		(単位: kg)		
区分	種類	2002年度	2003年度	
可燃ゴミ	焼却	一般可燃ゴミ	11,025,910	12,740,900
		ビニール(食品系)	145,202	3,001,600
		小計	11,171,112	15,742,500
	食品	生ゴミ	19,456,102	15,841,100
		魚のアラ	5,624,214	4,085,700
		天カス	602,493	707,800
		食用廃油	905,154	913,790
小計	26,587,963	21,548,390		
不燃ゴミ	ビン	539,321	663,000	
	缶	817,467	913,900	
	小計	1,356,788	1,576,900	
発泡スチロール		2,151,627	1,505,300	
ダンボールおよび再生紙	ダンボール	39,708,928	38,608,100	
	紙類(再生可)	610,979	958,700	
	合計	40,319,907	39,566,800	
その他	プラスチック	575,150	887,000	
	ビニール(衣住系)	2,325,115	1,442,500	
	ペットボトル	155,573	430,100	
	陶器、ガラス	104,658	53,800	
	金属カス	133,887	152,300	
	その他	74,486	358,400	
	小計	3,368,869	3,324,100	
合計		84,956,266	83,263,990	

データは、各年度ともユニー(株)当年2月21日～翌年2月20日までのものです。



リサイクル推進のため分別を強化したため、種類によっては増加したものもありますが、2002年度に比べて1692t排出抑制できました。

TOPICS

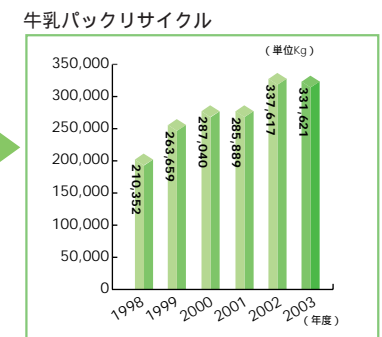
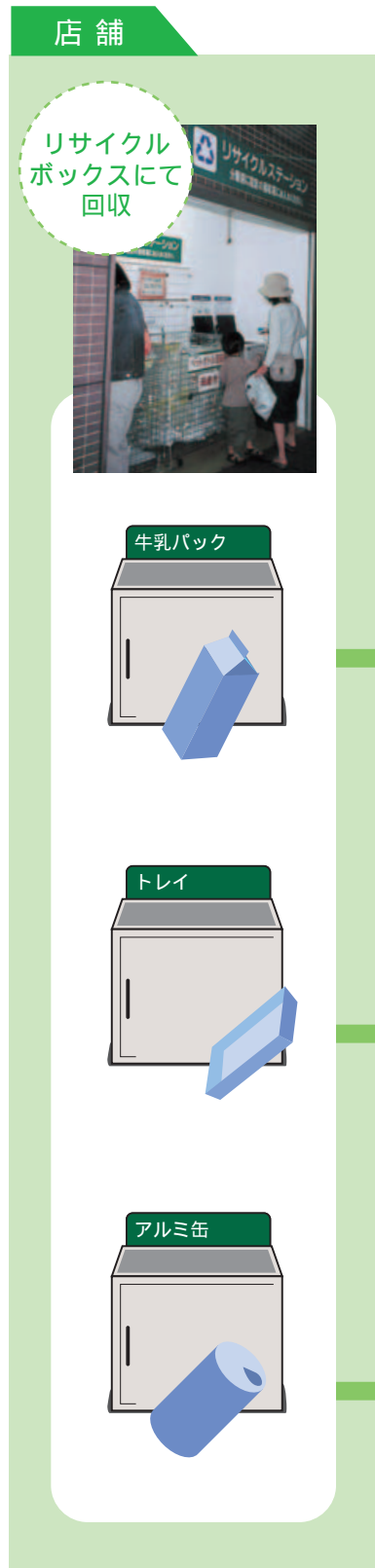
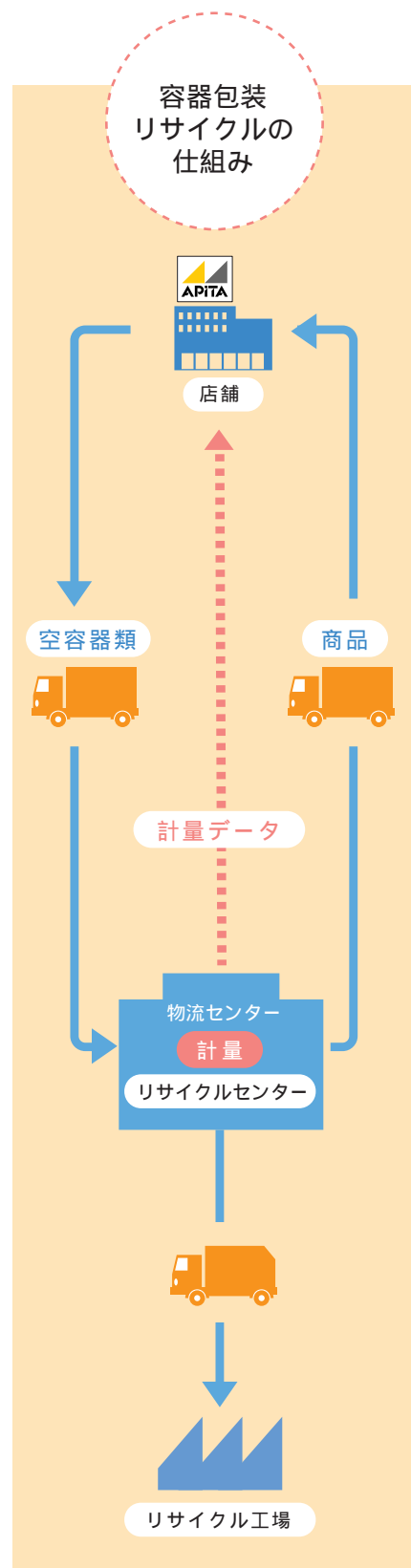
廃棄物の計量調査

廃棄物を削減するためには、廃棄物の内容や量を把握しなければなりません。そこでユニーでは、2000年から毎年6月の環境月間に、店舗での廃棄物計量調査を実施しています。リサイクル資源に活用することを考慮して、17分類に分別し、部署やテナントなどの排出場所ごとに計量しています。その結果、ダンボールおよび紙類・発泡スチロールなどの商品搬入時に発生する廃棄

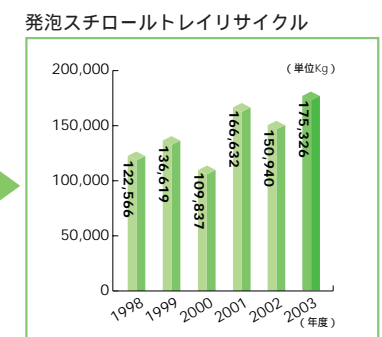
物が多いことがわかりました。また、食品リサイクル法の対象となる、食品廃棄物が2003年度では全体の約26%であることが確認できました。これらの廃棄物に適正に処理をしリサイクル資源にすることで、廃棄に出す量がかなり削減できる見込みです。2004年オープンのアビタ大和郡山店からは計量機を店舗に常設します。



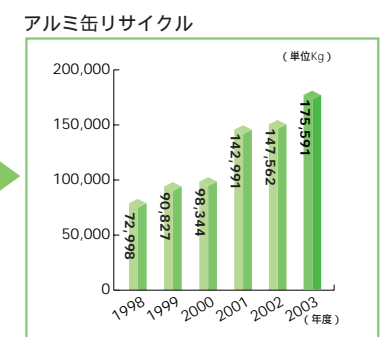
店舗で回収した牛乳パック、食品トレイ、アルミ缶などのリサイクル資源は、ユニーのリサイクルセンターに集められます。ここで店舗ごとのリサイクル資源計量が行われます。また、リサイクルセンターへのリサイクル資源の運搬には商品配送から戻るトラックを使用することで、エネルギー・排気削減に貢献しています。



年度	98	99	00	01	02	03
参加店舗	124	127	129	138	138	135
食品取扱店舗	132	133	133	145	139	136
参加率(%)	93.9	95.5	97.0	95.2	99.3	99.3



年度	98	99	00	01	02	03
参加店舗	115	130	133	140	139	136
食品取扱店舗	132	133	133	145	139	136
参加率(%)	87.1	97.7	100	96.6	100	100



年度	98	99	00	01	02	03
参加店舗	95	97	90	102	102	108
食品取扱店舗	132	133	133	145	139	136
参加率(%)	72.0	72.9	67.7	70.3	73.4	79.4

データは、各年度ともユニー(株)当年2月21日～翌年2月20日までのものです。

食品廃棄物リサイクル

食品の売れ残りや食べ残し、または食品の加工や調理過程において大量の食品廃棄物が発生しています。ユニーでは発生抑制と減量化により最終的に処分される量を削減するとともに、食品廃棄物の循環型リサイクルを実施しています。

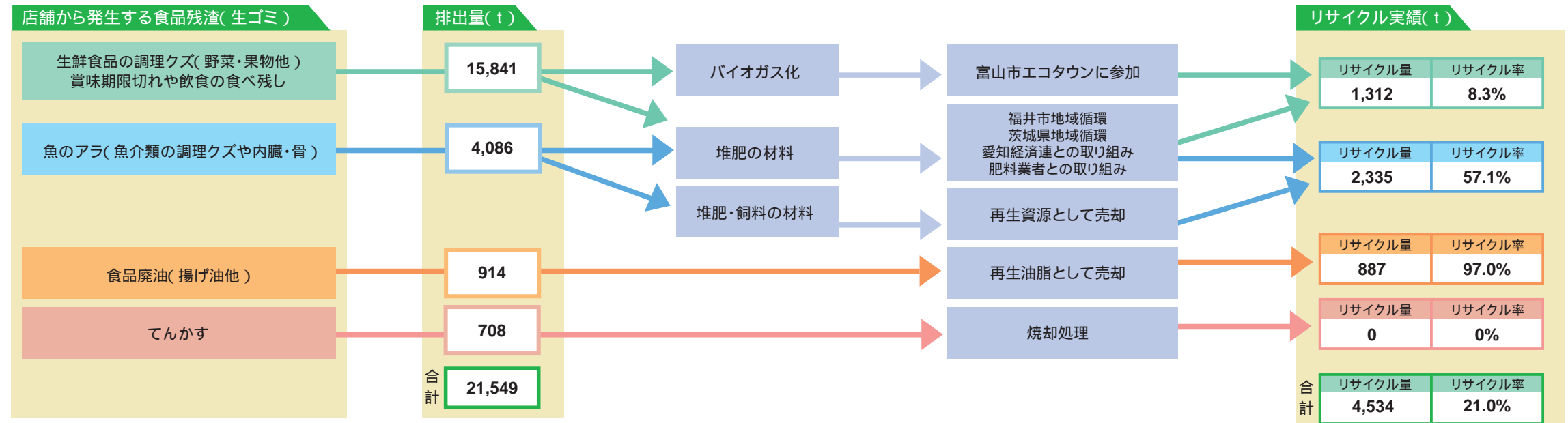
食用廃油は再生油脂として、排出量はほぼリサイクルできました。リサイクル促進で困難な生ゴミは、それ自体を原料にした堆肥で栽培した作物を販売するところまで、ようやくたどり着きました。魚のアラは、地域によって再生処理施設への搬入ができていない店舗があります。今後はリサイクルルートを確認し、リサイクル率の向上に取り組みます。



ユニーの生ゴミリサイクルの方針

- 安全であり環境負荷が少ないこと。
(大気汚染・水質汚染を予防し、省エネであること)
- 再生資源として有効であること。
(有価資源になり再廃棄しない)
- 経費が抑えられること。
(公共処理料金との比較)
- 継続できる方法であること。
(リサイクルルートが確立していること)

これらの条件から外れることなく、できるだけ地域の中で循環するように努めています。



データは、ユニー側の2003.2.21 - 2004.2.20のもの。

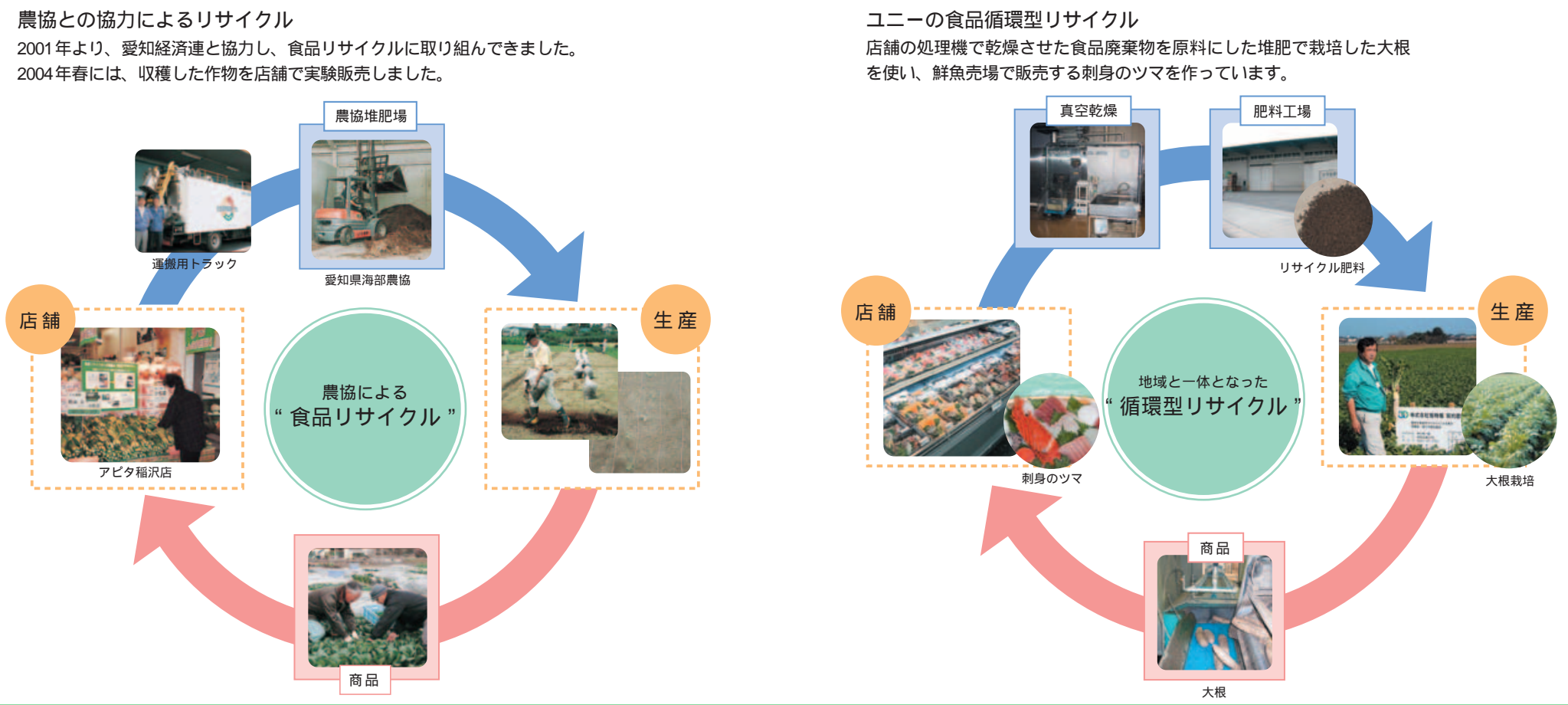
食品リサイクル法

(食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律)

食品廃棄物のうち肥料飼料などに有効利用されるものを「食品循環資源」と呼びます。食品リサイクル法では、「循環型社会形成推進基本法」に定める基本原則に基づき食品循環資源の再生利用等の手法に関する優先順位を定めています。

- 生産、流通、消費の各段階で食品廃棄物そのものの発生を抑える「発生抑制」を行う。
- 再資源化できるものは肥料や飼料などへの「再生利用」を行う。
- 廃棄されるものは「脱水・乾燥」などで「減量」して処分しやすいようにする。

食品残渣(生ゴミ)から製造した堆肥で栽培した作物を販売しました。



TOPICS

各店舗による環境活動

ユニーでは、各店舗が積極的に独自の環境活動を実施しています。サンテラス掛川店では、「生ごみの減量化・再利用」として、飼料の再利用や魚のアラの水きり徹底を始めました。このような取り組みによって、掛川店は「ごみ減量とリサイクル先進モデル事業」に、市内小売業第1号で登録されました。

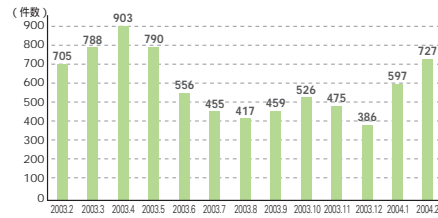
サンテラス掛川店

よりよい店づくりを進めるため、情報の開示を積極的に行っています。
また、社員や地域の子供たちに向けて環境学習を実施し、
環境に興味を持ちユニーの取り組みを知ってもらうことで、
コミュニケーションを図っています。

ホームページからの環境情報発信

当社のホームページで、環境保全についての取り組みを紹介しています。「エコショッピング」「環境レポート」「エコロ新聞」などがご覧いただけます。また、メールマガジン「エコロNews」も作成しており、環境保全についての有益な情報を多くの皆様へ発信しています。

環境部 ホームページアドレス
<http://www.uny.co.jp/eeco/>



環境部 ホームページへのアクセス数

環境展を開いています

ユニーが行っているリサイクル活動や、省エネ・省資源などの活動を、ボードやポスターでお知らせしています。



アビタ新守山店

各店舗に環境壁新聞を掲示

ユニーの店内には、環境問題についてわかりやすく紹介した「エコロ壁新聞」を掲示しています。エコロフレズが、お客様の環境についての疑問に答える“ecolo相談室”や、店内で販売中のオススメ環境グッズなどを載せています。インターネットからもご覧いただけるように、ユニーのホームページでも掲載しています。



店舗開設時教育

新店舗開店前には勉強会を開き、全従業員に環境教育指導を徹底しています。



環境教育を実施

子ども図書館主催の「エコ学習」

アビタ足利店の「子ども図書館」では「親子でエコ・ラリー」など、クイズや工作を取り入れた企画を実施し、楽しみながら環境について学べる企画も実施しています。



アビタ足利店

従業員教育マニュアル

社内規定をまとめたポケットガイドに、環境の基礎知識をまとめました。



社内規定
従業員マニュアルに環境のページを加えました。

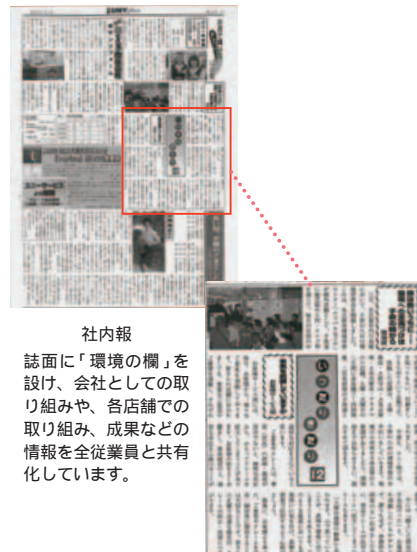


新入社員テキスト

新入社員に対しても入社時から環境に対する知識を身につけ、理解を深める教育も実施しています。

社内報での情報の共有

社内報では店舗での取り組みを紹介し、従業員の環境意識を高めています。



社内報

誌面に「環境の欄」を設け、会社としての取り組みや、各店舗での取り組み、成果などの情報を全従業員と共有化しています。



子供環境学習会

夏休みに、小学校3年生から6年生の子供たちを対象に「エコロお店探検隊」を実施しています。ゴミはリサイクルすることによってまた新しいものに生まれ変わることを学び、ゴミの分別リサイクルボックスの活用、「環境にやさしいお買物」などについて理解してもらいます。

エコロお店探検隊



探検スタート

環境にやさしいお買い物、リサイクルの仕組みを探検しよう。



エコロフレズに認定
エコロフレズのIDカードを作ってもらいました。これからも環境にやさしいお買物をします！



生ゴミ処理機

お店で発生する生ゴミを乾燥処理します。



リサイクル工作

使い終わった容器で、工作をしました。



発泡スチロール減容器

ここで発泡スチロールをコンパクトにします。



商品探検

包装資材をなるべく使わない商品があることや、マイバッグを使うと資源の節約になることを知りました。

人にやさしいお店づくりのために

店舗の工夫

店舗には年齢や性別、障害の有無などにかかわらず、すべての人が快適に過ごすためのデザイン“ユニバーサルデザイン”を採用しています。
どなたでも通りやすい広い通路や、お子様がケガをしないソフトな遊具など、店内各所にさまざまな工夫をしています。

ユニバーサルデザイン

1 優先トイレの設置



車椅子でご利用いただけるトイレです。また、妊婦の方やお年を召した方もご利用いただけます。

2 段差のない入り口



駐車場と店内の段差をなくし、公道入り口から各玄関まで誘導ブロックを敷きました。

3 車椅子専用駐車場



入り口の近くに、車椅子専用駐車場を設置しました。

4 車椅子対応自動販売機



車椅子のお客様にご利用いただきやすい飲料の自動販売機を設置しています。

5 車椅子の無料貸し出し



店内でご利用いただける車椅子をご用意しています。

6 優先エレベーター



混雑時などに車椅子の方が優先的にご利用いただけます。音声案内・点字表示をし、低い位置に操作ボタンを付けました。


7 介添えサービスの実施



1階各出入口にインターフォンを設置し、呼び出しによって介添えサービスのご要望にお応えします。


お子様連れの方への配慮

8 小さなお子様の遊び場




小さなお子様に、安全に遊んでいただけるように、床や遊具にソフトな素材を使用した遊びのスペースを設けています。

9 ベビー休憩室

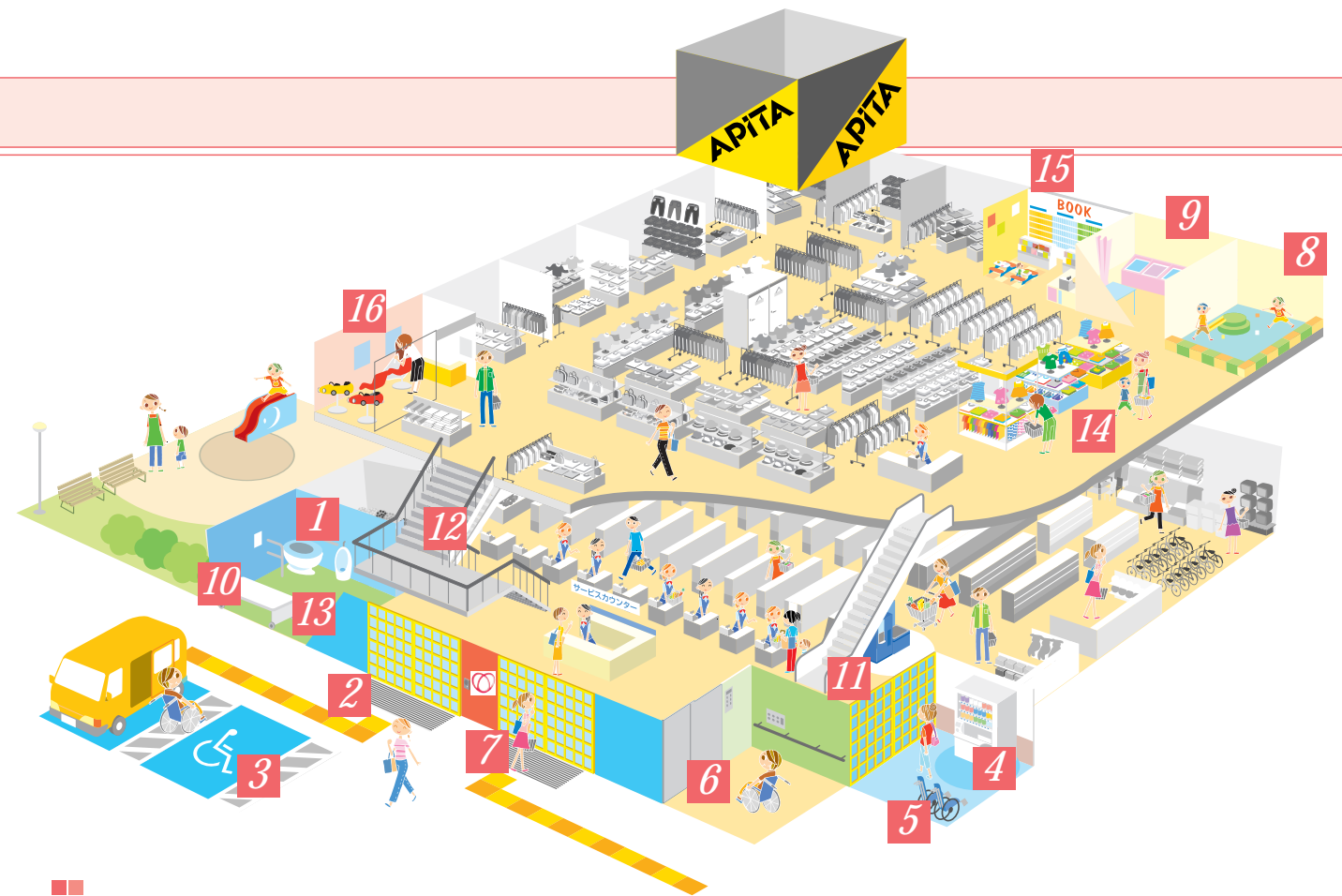


お子様の授乳やおしめ替えにご利用いただけるベビー休憩室(赤ちゃんルーム)を設けました。

10 男性用トイレにベビーシート設置




男性用トイレにもベビーシートを設置しました。




よりよく利用していただくためのサービス・工夫

11 アピタのおいしい水




飲料やお料理に使用していただけの浄水機を設置しました。

12 危険防止の工夫



危険防止のために、店内の階段には手すりを付け、足元に誘導ブロックを設置しました。

ハートビル法



ユニーはすべてのお客様に快適にご利用いただける店づくりに取り組んでいます。ハートビル法とは「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の促進に関する法律」の通称です。病院・劇場・ショッピングセンター等、不特定多数の人が利用する政令で定める建築物に、お年寄りや障害を持った方が利用しやすいよう、いくつかの基準が設定されており、基準を満たした建物がハートビル法として認定されます。(2004年4月現在44店舗)

TOPICS

アピタ大和郡山店



坂野店長

アピタ大和郡山店では、ベビー休憩室や遊びのスペースのほか、ヘアサロンに子供用のチェアを取り入れたり、書籍売り場に絵本コーナーを設けたりしています。また、子供服のコーナーを充実させるなど、お子様連れの方にも十分に楽しんでご利用いただくために、さまざまな工夫をしています。

13 子供用トイレ



お子様ひとりで使用できる小さなタイプです。

15 書籍売り場



絵本など気に入った本を選んで読むことができるスペースです。

14 子供服売場



おしゃれなお子様のために品揃えを充実させました。

16 ヘアサロン



自動車型の椅子に座ってカットします。

お子様連れに配慮した店舗づくり

人にやさしいお店づくりのために



お客様の声のポスト

よりよい店づくりのために、何よりもお客様のご意見を大切にしています。
 お客様の声をお聞きし、速やかなご回答と迅速に対応をする態勢を整え、
 商品やサービス面を改善していきます。

お客様の声のポスト

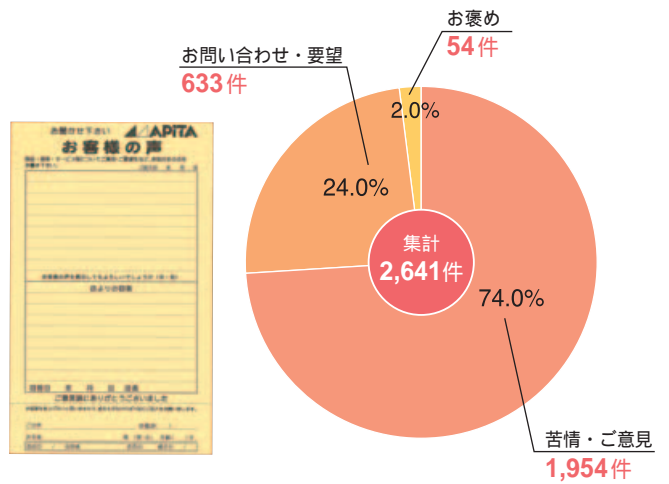
ユニー・アピタ・ユーホームの全店で「お客様の声のポスト」を設置しています。
 お客様からいただいたご指摘・ご要望などは、店長が確認し、すぐに対応すると同時にボードに掲示して公表しています。
 また、必要に応じて本部へ報告・連絡・相談することにより、会社全体の課題として指導、改善にあたります。



アピタ稲沢店

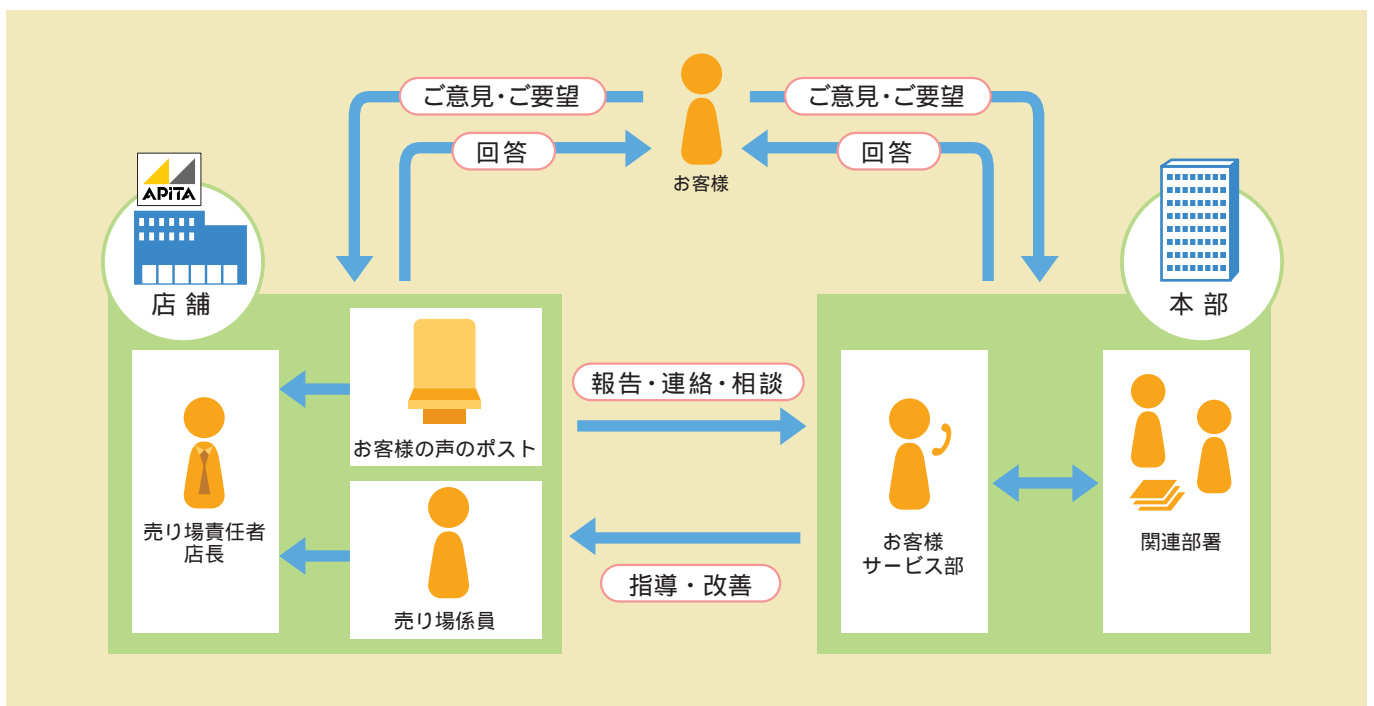


アピタ新守山店



データは、2003.2.21～2004.2.20(ユニー本部受付分)のもです。

コミュニケーション体制



ピック・アップ・ストア アビタ東海荒尾店



店長 安藤義明

コミュニケーションを大切に、
環境保全活動・地域貢献に努めます

2002年10月のオープン時より店長を務めています。「誰よりも明るく元気に！」をモットーに、毎朝開店時に店内をまわり、お客様や従業員とあいさつを交わし、同時に安全管理を確認します。リサイクルに関しては、店内に真空乾燥処理機や発泡スチロール減容処理機を導入してリサイクル処理などに努め、現在全体で80%の廃棄物リサイクルを実現しています。

また、地域のイベントや中学生を対象に職業教育を実施したり、移動図書館を運営したりするなど、地域とのコミュニケーションを大切にしています。地元シルバー人材センターにはリサイクルボックスの管理やリサイクル機器の操作などの仕事を依頼しています。

今後も地域の発展に努め、お客様の声を大切にして、環境問題・地域貢献に取り組んでいこうと考えています。

ご協力を呼びかけて、
皆様と一緒に環境保全

業務副店長 松井桜子



リサイクルボックスの運用や、店内の廃棄物のリサイクルや適正処理は、私の担当する業務のひとつです。当店は、リサイクルボックスでの回収量はユニー全店の中でも最多ですが、困ったこともあります。お客様が持参されるリサイクル品に、汚れたものや袋に入ったままになっているものがあり、ルールに従っていただくようご協力を呼びかけています。

また当店では、子供たちのために、環境学習を実施したり、夏休みに「エコロお店探検隊」を開催したりしています。

私にも子供がいますが、母親としても子供たちのために、美しい地球を残すよう自分たちのできることを率先してやらなければと思います。



サービスカウンター担当
加藤ひろみ

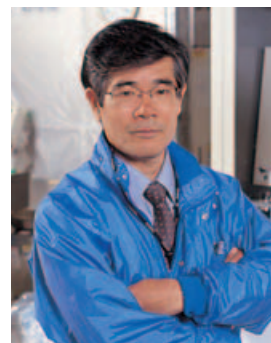
お客様のご要望に
お応えできるサービスを

前勤務先の店舗を含め、8年間サービスカウンターを担当しています。サービスカウンターの業務には、マイバッグキャンペーンの対応やギフト包装の承り、車椅子の方の介助・ご案内などがあります。環境活動では、マイバッグキャンペーンの反響に驚いています。毎年新しいマイバッグが出るのを楽しみにしているお客様がたくさんいらっしゃいますし、中には自分だけではなくお友達に差し上げて一緒にマイバッグ持参を進めてくださるお客様もいます。これからも環境活動や地域貢献の窓口としてお客様に喜んでいただけるように努力したいと思います。



省エネ・省資源は
身近なところの管理から

サン総合メンテナンス
石川啓助



私は店全体の総合安全管理を担当しています。お客様に、安心安全な店で楽しくショッピングしていただくために、設備の点検や事故防止に努め、エネルギーや資源を管理し、省エネ・省資源を推進しています。当店は、インバーター設備を完備しており、省エネ構造になっています。2003年10月からは閉店時間を1時間延長しましたが、電気消費量は現在のところ前年に比べ、ほとんど増加していません。事務所でも、使用しない場所の電気を消したり温度の設定を調節したりと、身近なところから省エネ・省資源を徹底していくよう従業員に呼びかけています。

地域で行うリサイクル・支援活動

ユニーでは地域の方とともにまちの環境活動に参加したり、
 情報提供や支援協力の場を設けて皆様に利用していただいたりすることで、
 社会貢献に努めています。



リサイクルの日

伊東店(ショッピングプラザ・デュオ)では、毎月第1日曜日を「リサイクルの日」とし、店の駐車場でリサイクル品の収集を行っています。古紙や不要となったトレイ・空き缶・ペットボトルをお持ちいただき、重量により現金やティッシュペーパーなどと交換します。毎回500名から800名の方が来場されています。



ユニー伊東店

愛の難民救援キャンペーン

名古屋市守山区のアピタ新守山店で、日本救済衣料センター主催のキャンペーンを開催しました(ユニー(株)共催、後援：外務省、愛知県、名古屋市)。1988年より、サンテラス千代田橋店で開催していましたが、店舗建て替えのため、会場を近隣店舗であるアピタ新守山店に変更して開催しました。約700名の方が参加され、家庭に眠っていた約30トン(5トントラック6台分)の衣料を、アジア・アフリカに送りました。



年度	来客数	総量
2001年	約700人	約35t
2002年	約850人	約45t
2003年	約700人	約30t

リサイクルバザー

なごや消費者団体連絡協議会のボランティアの皆様といっしょに、家庭に眠っている不要品を一般の方からお預かりし、バザーで販売しています。1993年より毎年開催しています。



アピタ東海通店(名古屋市)

ゴミ0会

ユニー本社がある愛知県稲沢市では、市と市民・事業者が一体となって「ゴミ0会」を結成し、地域のゴミ削減に取り組んでいます。



愛の募金箱

ユニー、アピタ、ユーホーム、ラフーズコアの各店と本部に「愛の募金箱」を設置し、お客様、お取引先、従業員の善意の輪で、皆様の財布の中で眠っている1円玉などを募金していただいています。集まった募金は毎年、地域の福祉団体などへ寄贈しております。

2003.2.21 ~ 2004.2.20の合計

5,472,532 円

関東本部	1,560,170 円
静岡本部	345,990 円
中部本部	3,089,923 円
北陸本部	476,449 円



地域清掃活動

ユニーの各店舗や事務所では、地域のゴミを従業員が清掃し、環境美化に努めています。



子ども図書館

「より身近な場所で、子供たちが気軽に書と出あえれば」というコンセプトで、現在4店舗に「子ども図書館」を設置しています。蔵書は1館当たり約1.5万~2万冊で、各館とも専門の司書が運営にあたっています。



アピタ・サークルK・サンクスレディスのチャリティー募金

ユニーグループが主催する、日本女子プロゴルフ協会公認の大会がユエグリーン中津川ゴルフ倶楽部で開催されました。イベントでは参加者からチャリティー募金を募り、中津川市社会福祉協議会に寄付しました。



募金合計
362,000 円



ファミリー・フレンドリー企業認証を取得

働く人の家庭的責任に配慮した取り組みを行う企業として、愛知県より「ファミリー・フレンドリー企業」に認定されました。

